

事業所名

ゆいまーる

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

3 日

法人（事業所）理念		○一軒家ならではの家庭的な雰囲気の中で、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくっていく。 ○「おかえり」「ただいま」のやりとりが自然と生まれる温もりのある空間で、一人ひとりの個性を尊重しながら成長をサポートする。 「ゆいまーるに通いたい！ゆいまーるで働きたい！」と思われる企業を全ての社員でつくる。				○	
支援方針		障害のある子どもたちが、自分のペースでのびのびと安心して過ごせる環境を整えます。支援や支援計画は画一的にならないよう留意し、一人一人に寄り添った個別の支援を大切にします。また、ご家族の思いにも寄り添いながら、移行支援を実施します。					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○心身の把握(毎回体温測定・気分把握) ○基本的な生活スキルの獲得(手洗い・靴の脱ぎ履き・身支度・片付け・スケジュール確認・見通し) ○生活リズムの形成(定期的かつ定時に通所)・SSTなどによる社会的訓練				○	○
	運動・感覚	○微細運動(ハサミ・ボタン・シール貼り・なぞり書き・紐通しなど) ○全身運動(体操・サーキット・ストレッチ・お散歩・縄跳び・公園あそびなど) ○感覚遊び(絵具制作・スライム・ねんど・葉っぱや石など自然のものを取り入れた制作) ○保有する感覚の活用(ボールプール・トンネルくぐり・リズム遊び)				○	○
	認知・行動	○天気・気温・日付の概念と管理(昨日や今日などの時間の理解) ○指示理解と行動(物の名前や色・相手の顔や動作・支援者などからの指示) ○行動障害への対応(落ち着ける個別空間の設置など)				○	○
	言語 コミュニケーション	○終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションして言語表出・需要 ○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得(小集団での運動療育・集団遊び・伝言ゲームなど) ○語の形成と活用(絵カード・手話・ハンドサインも用いたことばのSST)				○	○言
	人間関係 社会性	○模倣行動の支援(ごっこ遊び・模擬店の実施) ○感覚運動遊びから象徴遊びへの支援(療育スペース器具を使用したごっこ遊びの習得) ○人遊びから協同・協同遊びへの支援(役割分担を決めた集団遊び、風船バレー等集団ゲーム)				○	○一
家族支援	○こどもの信頼感の育むとともに、こどもの感情や不安に寄り添い家族や周囲の人と安定した関係を継続するための支援 ○家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ○こどもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援 ○こどもの支え方や食事のとり方等の具体的な介助方法についての助言、提案 ○家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供、保護者同士、きょうだい同士の交流の機会の提供やきょうだいに対する相談援助に関して→第1回を検討、準備中			移行支援	○家族への情報提供や移行先の見学調整 ○進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助・併行利用の場合の利用日数や利用時間などの調整 ○HPやSNSからの情報発信を通じた地域住民との交流		
地域支援・地域連携	検討中			職員の質の向上	○月1回の事業所内研修 ○動画配信を利用した外部研修や、外部の実践研修等に年1回以上は参加し職員の質の向上に資する取り組みとする。 ○資格取得支援を行い、意欲向上に努める。		
主な行事等	お花見、こどもの日、バーベキュー、プール、芋煮会、お月見、クリスマス、お正月(お雑煮、もちつきなど)、雪遊び、節分、ひなまつり						